生涯学習

ゆめっくる

社会教育からのお役立ち情報
～冬を迎える前の”学びと整え“のススメ～

１．冬の訪れの前に、暮らしを整える時期

朝晩の冷え込みが増し、沼田町にも冬の気配が近づいてきました。１０月下旬は、冬を快適に迎えるための「前倒し準備」に最適な時期です。冬支度は季節の家事にとどまらず、地域の気候を理解し、安全に暮らすための大切な学びでもあります。暖房器具の試運転やフィルター清掃、加湿器の衛生管理は、冬の安全と健康を守る基本であり、地域の気候を理解する生活教育の一つです。こうした冬支度に合わせて、家具の位置や動線を見直すことで、暮らし全体が整います。

２．「ゆる断捨離」で収納を軽くする

冬物は厚手でかさ張るため、収納スペースを圧迫しがちです。そこで役立つのが、負担なくできる「ゆる断捨離」です。使わない物を手放すことは、自分の生活パターンを理解する学びにも繋がり、冬支度の効率を高めます。断捨離は「減らすこと」よりも「使う物を選び直すこと」と捉えると、気軽に取り組めます。

３．「簡単収納術」で冬をもっと快適に

冬の暮らしをスムーズにするために、今日からできる収納の工夫をいくつか紹介します。

◆冬物は「手前・低め・近く」

よく使う手袋・帽子・ひざ掛けは、玄関やリビングの腰の高さにおくと、取り出しやすさが格段に向上します。



◆季節家電は「しまう前に綺麗に」

扇風機やサーキュレーターは、埃を落としてから収納すると、来年の準備が楽になります。

◆除雪道具は「玄関近くにまとめる」

急な雪にも慌てず対応でき、冬の安全に繋がります。

◆衣類は「立てる収納」で見える化

厚手の服は重ねると埋もれやすいため、立てて収納すると一目で選べます。

◆家族共有の物は「見える収納」

かごやボックスを使い、誰でも分かる置き場所にすることで、家族のコミュニケーションが円滑になります。

収納は、暮らしの動線を整えるだけでなく、冬の安心をつくる生活教育でもあります。身近な収納から生活を見直してみるのはいかがでしょうか。

【令和７年度 あいさつ運動における標語コンクール作品紹介

沼田中学校２年生（現３年生）】

「あいさつは　元気の源　こんにちは」

三田（さんだ）　真綾（まあや）さん

お問い合わせ…沼田町教育委員会教育課　☎３５－２１３２

○教育委員会「ブログ」随時更新中○　URL: https://blog.canpan.info/numakyoui/